

# 熊本県立大学 環境共生学部 居住環境学専攻

環境共生型社会の創造をめざす**環境共生学部創設**  
(平成11年4月)  
従来の学問分野の枠組みを超え理工農医を総合した  
**新しい自然科学系学部**

## 学部の理念

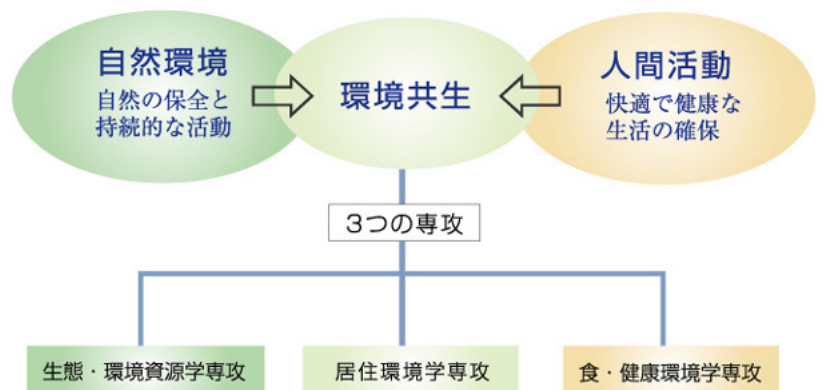
私達は環境共生にかかわる諸問題を総合的にとらえ、自然環境と人間活動との共生のあり方を追求し、地域の発展と人間福祉の向上をめざすことを理念とする環境共生学部を開設し、教育研究を推進しています。

人類はながい歴史のなかで自然環境を改変しながら生活してきました。エネルギーの大量消費・物資の大量生産により、自然を収奪し、環境を破壊し、生態系の貧困化を招いてきました。

これを打開するには、自然環境と人間活動との共生を図り、自然環境を、継続的・循環的に利用し、健康で快適な生活環境を創造することによって、社会全体の発展と福祉の向上をめざす「環境共生型社会の創造」が必要です。

環境共生にかかわる諸問題は多様であり、その解決には、従来の学問の枠組みを越えた総合的な問題把握と教育研究が不可欠です。

## 環境共生型社会の創造



## 居住環境学専攻の理念

従来のスクラップ&ビルド型建築の反省にたち、「環境共生」の視点から、地域文化や気候・風土に根ざした住まい・建築・都市・農山村などの居住環境を保全・創造する人材育成をめざします。

本専攻では地域に密着した題材を通して、従来の建築学科では学ぶことのできない、21世紀に不可欠な循環型の居住環境創造技術の教育研究を行います。